学校番号	402

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　高校生の音楽１　（音楽之友社）						
副教材等	Ｎｅｗ　Ｒｅｃｏｒｄｅｒ　Ｌｉｂｒａｒｙ　（教育出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽という媒体を通して、自分を広く表現することを最大の目標として学習活動を行います。
そのために、歌唱(独唱・重唱)・器楽(リコーダー独奏)などの技術を高めてゆきます。
その到達度は実技テストでの演奏発表や、授業中に配布するワークシートで評価しますが、日常の授業に臨む姿勢なども重視します。また、学校という場で行う学習活動ですから、自分の技術を磨くのみではなく、他者の演奏発表を聴く機会なども大切にします。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現への創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、音楽に関する諸活動に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、創造的に味わう。
評価方法	観察 ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート 実技テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	歌唱(独唱)・器楽(リコーダー独奏)	＜独唱＞ Caro mio ben I could have danced all night など ＜リコーダー独奏＞ 明日へ続く道 てぃんさぐぬ花 など また、和楽器(箏)の基本について学ぶ。	○	○	○	○	a:イメージをもって演奏することに主体的に取り組もうとしていること。 b:音楽を通じての自己表現のために必要な表現の工夫をしていること。 c:そのための技術を身につけようとしていること。 d:その表現のための参考として、意欲的に鑑賞していること。	実技テスト ワークシート
後期	研究発表など	各自が設定した分野・曲目により、演奏発表を行う。歌唱・器楽、単独・グループは問わない。	○	○	○		a:自己表現のための演奏発表のための適切な計画をしていること。 b:さまざまな表現についての研究を意欲的に行っていること。 c:演奏技術を身につけるため、意欲的に取り組んでいること。	実技テスト ワークシート
後期	歌唱(重唱)・器楽(リコーダー重奏)	＜重唱＞ White Christmas Oh Happy Day ほか ＜リコーダー重奏＞ 世界の約束 めぐりあい ほか	○	○	○	○	a:2 人で取り組むので、対話的に取り組む意欲を持っていること。 b:表現の工夫も 2 人で研究し合うこと。 c:その技術向上にもお互いを高め合うべく取り組めていること。 d:参考のために意欲的に鑑賞に臨むこと。	実技テスト ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現への創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。